

6自治!

市民とつくる自立したまち



効率的な行財政運営の推進

◎健全な財政運営と職員資質の向上、公共施設マネジメントの推進

施策や事務事業などの優先順位の明確化を図るとともに、民間との役割分担や定員管理の適正化などにより、効率的な行財政運営を推進します。また、健全な財政運営堅持のため、市税の適正かつ公平な課税・徴収や、債権管理などによる歳入の確保に努めます。

さらに、職員の資質向上のために、実効性のあるさまざまな職員研修を進めるとともに、職員の意欲を引き出し、持続できる組織風土の醸成を図ります。

また、民間と連携し未利用物件の売却・貸付などを行い、公有財産の有効活用を図るとともに、市有施設の劣化度や利用状況などを把握し、計画的な維持保全・更新を行うことで、財政負担の平準化と施設の有効利用を図ります。

もってもらい、積極的に参加してもらおうと、平成28年度から子どもや若者が自分たちで考え行動する「まちづくり活動を応援する制度を開始しました。応募のあった団体を審査し、平成30年度は9団体を支援しています。

「まちづくり協議会」同協議会・準備会が設立されている30地区(平成31年4月1日現在)では、地域の各種団体が連携を図りながら地域課題の解決や地域特性を生かしたまちづくりに取り組んでいます。地域が主体的に取り組むまちづくりを支援するとともに、一定の権限・責任と財源を徐々に地域へ移譲していきます。

市民と市長が直接対話

◎タウンミーティング

「現地・現場を大切に」「市民目線を大切に」という基本姿勢のもとに、市民と市長が直接意見交換を行う「タウンミーティング」。

この事業の特徴は「聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしない」と。意見に対し、市長が直接回答するとともに、すべての意見について検討し、できることから市政に生かしています。

住民主体のまちづくり

ネットワーク型の住民自治組織

◎まちづくり協議会

「私たちのまちは私たちの手で」を基本理念に、地域住民や団体が連携して組織される、ネットワーク型の住民自治組織



住民が主体となって実施している高齢者のつどい(三津浜地区)

◎まちづくり提案制度

若い人たちが「まちづくり活動」に関心を

ここがいい、加減。

松山人が語る幸せの種



料理研究家・作曲家
中村 和憲さん

まちづくりの主役は市民 大切なのは志とつながり

私はPTA活動を通して地域との関わりが増え、現在はまちづくり協議会にも所属しています。それ以前は「仕事」と「家庭」が自分の足場でしたが、新たに加わった「地域」という「第三の足場」は、私の世界を広げ、多くの気づきを与えてくれました。地方自治において大切なことが二つあります。一つは志。私たち松山市民は松山城という大きな宝を日々目にしています。この土地性は市民の志を育ててくれるように思います。もう一つ大切なのはつながり。まちを作るのは人。それぞれがばらばらに目標を追うのではなく、同じ思いを持つ人がつながれば、みんなの幸せという大きな花を咲かせると信じています。

若い人がまちづくり活動の提案を行う、まちづくり提案制度